

独立行政法人労働者健康安全機構 釧路ろうさい病院

地域医療連携総合センター だより

2016
No.29

INDEX

1. コメディカル紹介
2. インフォメーション

発行：2016.6 釧路労災病院地域医療連携総合センター

理念：最新の知識と技術に基づき、良質で信頼される医療を実践します。

■当院は地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、エイズ治療中核拠点病院です。

コメディカル紹介

中央リハビリテーション部

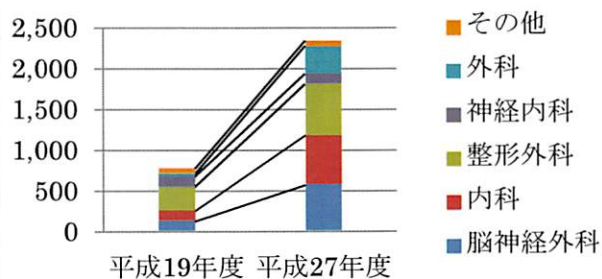
部長 山田 毅

中央リハビリテーション部は、平成28年5月現在、医師1名（兼任）、理学療法士9名、作業療法士5名、言語聴覚士1名の総勢16名の体制で日々の診療を行なっています。全国的に見てもリハビリテーション医療は、この10年で大きく様変わりをしました。急性期・回復期・維持期といった機能分化がより鮮明になり、患者・家族が地域連携の中で切れ目無く良質なサービスを受けられるようになっております。リハビリ対象疾患も高齢化やがんサバイバーの増加など疾患構成の変化で、より広範囲で複雑化してきています。中央リハビリテーション部も、当院開院当初からの運動器疾患や脳血管疾患に加え、内科や外科の内部障害やがん患者へのリハビリテーションが劇的に増加した結果、表1、図1で示すよう平成19年から27年までの9年間で全体数も3倍になっています。

表1 リハビリ新患数の推移

	平成19年度	平成27年度
脳神経外科	126	573
内科	123	607
整形外科	294	631
神経内科	129	125
外科	34	338
その他	64	67
計	770	2,341

図1 リハビリ新患数の推移



入院、発症早期からのリハビリの提供は、脳血管障害発症3日以内でのリハビリ開始は勿論、整形外科術前からの介入で早期の機能回復はもとより、患者ニーズの把握・不安軽減にも努めています。また、高齢化に伴い、複数の疾患障害を持つ方も多くなっており、（例：パーキンソン病で神経内科通院中の方ががんで内科入院、大腿骨頸部骨折で整形外科入院の方が肺炎発症等）複数の診療科にまたがる疾患・障害に対しても患者さんをトータルで診るという総合病院のリハビリならではの対応が可能です。高齢者の死因の上位を占める肺炎の増加については摂食嚥下訓練、呼吸器、運動器リハビリ等で予防、回復に努めています。

がん患者に対するリハビリについては廃用予防や心理的効果は勿論、がんそのものによる障害治療に関係する機能障害、合併症予防回復など予防的～緩和的な段階まで広く対応しています。手術前後に「周術期呼吸リハ」の実施により、呼吸器合併症の予防や早期離床などを図っています。また、乳がん患者の上肢リンパ浮腫・肩関節拘縮予防等リハビリの提供を行っています。

更に今後は、職場復帰や治療と就労の両立支援についても労災病院としてお役に立ちたいと考えています。各診療科に共通して言えることは高齢化に伴い、廃用予防が非常に重要になってきており、初期対応がその後の退院先にも関わってくることです。リハビリの需要はますます増していると感じています。

昨年度の各診療科の上位疾患数を示します。（表2）

表2 平成27年度リハビリテーション科新患内訳

※CVA：脳血管障害 CA：変形性膝・股関節症

診療科	各科 症例数	主たる疾患等			診療科	各科 症例数	主たる疾患等		
		疾患・部位等	症例数	割合(%)			疾患・部位等	症例数	割合(%)
整形外科	631	下肢(除くOA)	228	36.1	外科	338	がん	266	78.7
		上肢	159	25.2			その他(肺胆道疾患)	69	20.4
		OA	159	25.2	神経内科	125	神経難病等	107	85.6
		脊椎・背髄	146	23.1			CVA	15	12.0
		肩	82	13.0	形成外科	29	がん	12	41.4
内科	607	がん	270	44.5			褥瘡潰瘍熱傷等	12	41.4
		肺炎	94	15.5	泌尿器科	18	がん	12	66.7
		感染症/炎症	64	10.5	歯科・口腔外科	12	がん	11	91.7
脳神経外科	573	CVA	263	45.9	耳鼻咽喉科	9	がん	5	55.6
		脊椎・背髄	243	42.4	合計	2,341	各科がん合計	576	24.6

整形外科でのリハビリの提供

更にユニークな試みとしては、平成22年より、整形外科外来に理学療法士が常駐し、診察室から直結したリハビリテーションを提供しています。内容は、変形性関節症の保存療法や肩・膝痛、腰痛の対応、エクササイズやテーピング指導など様々です。

医療環境の激変に伴い、リハビリテーションの姿も変わりつつあります。私どもも時代のニーズ、地域のニーズに応えられるよう進んで参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

インフォメーション

◆ 医療講演会のお知らせ ◆

当院では、地域全体で効率の良い医療を提供できるよう目指しております。このたび「リハビリテーションの視点からみた認知症診療」をテーマに講演会を開催いたします。ご多用中とは存じますが、多数のご参加をお待ちしております。なお、誠に勝手ではございますが準備の都合上、6月28日(火)までに別紙FAX申込書にてお申込みくださいますようお願いいたします。

□日 時：平成28年7月6日(水) 18時～19時

□会 場：釧路労災病院 3階講堂

□演 題：「リハビリテーションの視点からみた認知症診療」

講師 札幌医科大学リハビリテーション医学講座教授

札幌医科大学付属病院リハビリテーション部部长 石合 純夫 氏

※本講演会は北海道医師会の承認を得て、日本医師会生涯教育講座(1単位)として開催いたします。

◆ 移植医療講演会のお知らせ ◆

移植医療、その他の先端医療における医療従事者の役割について考え、「道東医療従事者と先端医療の展開」をテーマとして講演会を開催いたします。基調講演として「本邦・北海道の移植医療 Update」「ハイリスク症例における治療前のコミュニケーションについて」を予定しております。

□日 時：平成28年7月23日(土) 13時～15時(12時30分会場)

□会 場：釧路プリンスホテル 2階鶴の間

□基調講演：「本邦・北海道の移植医療 Update」

講師 旭川医科大学教授

旭川医科大学病院 副院長 古川 博之 氏

□基調講演：「ハイリスク症例における治療前のコミュニケーションについて」

講師 コロンビア大学医療センター内科

Assistant Professor(成人緩和医療) 中川 俊一 氏

□主 催：北海道移植医療推進協議会 釧路労災病院 釧路市医師会

※本講演会は北海道医師会の承認を得て、日本医師会生涯教育講座(2単位)として開催いたします。